



vol.12
2023 新春号



●令和3年度我が国における自殺対策白書では男性が十二年連続で減少に対し、女性はその二倍の増加であることから、自殺対策大綱で初めて女性に対する支援の強化が重点施策に位置づけられた。コロナ禍で経済・家庭・心を含めた健康問題等々困難を抱える女性への支援が必要との思いで伺う。

問 実際本市の状況とこれまで行ってきた自殺対策は。

答 本市では女性の自殺の割合は減少しており県・国と比較しても低い値ではあるが、注視が必要と考える。市報では保健センタ一内で実施の精神科医による心の相談窓口などの情報提供を行っている。また自殺のサインなどに気づき声をかけ必要に応じて専門家につなぐなど見守る人材育成であるゲートキーパーの市職員研修を実施。産後鬱予防の観点では、助産師等が個別の支援ほか本年度から新たに、健康検査や心の健康チェックも開始した。

問 ゲートキーパー研修を受講した人数は。

答 課長級以上の職員合計四十三人。

問 職員全員が受け結果を出している自治体もある。全員受講できないか。

答 窓口職員をはじめ順次多くの職員が受けられるよう、努めていく。

問 带状疱疹ワクチンの公費助成を望む多くの市民の声がある。検討は。

答 国では定期接種に向け効果や導入年齢などの審議中なため、引き続き国の動向を注視していく。

他 子宮頸がん予防に関する検診及び新たな9価ワクチンの対応について。

十二月議會一般質問

23年統一地方選挙 予定候補
公明党第13次公認決定（行田市）



新 おおや あきら
副支部長



公明党公認決定

埼玉県議会春日部市

県議3期 51歳

ごんもり幸男



公明党法律
無料相談（議員通し予約）




	1月	2月	3月
県本部		9日(木)	10(金)
	20日(金)	22日(水)	23日(木)
深谷	17日(火)	21日(火)	22日(水)
春日部	21日(土)	18日(土)	18日(土)

編集後記

令和5年の幕があげました。

今年のW杯ではサッカー日本代表が、諦めない心と団結で活躍したように、何があっても粘り強く希望に向かい、明るい行田を創出していきたくと、心から願うものです。

12月議会では声に出せない声を代弁する思いで、子宮がん検診についても取り上げました。内診の抵抗感もあるかと思います。がんには早期発見が大事なことはいうまでもありませんが検診率は非常に低い状態です。まずは自宅でセルフ検査ができ、実際の検診へと繋げていけたらと質問いたしました。簡単に実現とはなりませんが他様々な課題を含め、粘り強く取り組んでまいります。



写真で3年8か月

一部を紹介。様々ご要望を
ありがとうございます。

- ・公園整備・路面表記・危険回避ポールや安全看板・道路修繕
- ・カーブミラー・キャッツアイ・水路 空地等々の除草・側溝蓋 ほか

(2022年10月～12月の市民相談要望件数は35)



❖ 門井1丁目門井中央公園内



❖ 城西3丁目地内



❖ 大字持田地内



❖ 大字樋上地内



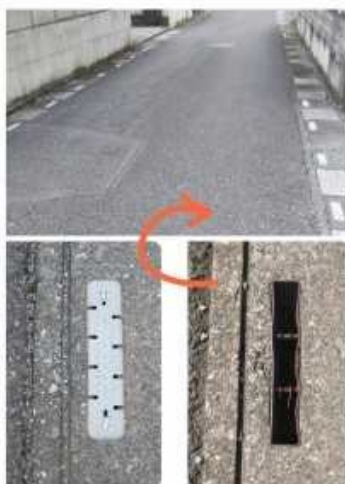
❖ 持田2丁目地内



❖ 渡柳地内



❖ 持田3丁目地内



❖ 持田3丁目地内



❖ 棚田1丁目地内